

報道機関各位

(報道発表資料)
令和6年6月14日
北九州市保健所保健企画課
(担当:河崎、正野)
電話:093-522-5721

A型肝炎の発生について

市内において、A型肝炎(4類感染症)の発生届がありましたので、北九州市感染症公表要領に基づきお知らせいたします。

- 1 概要 令和6年6月13日(木)、市内B医療機関(小倉北区)からA型肝炎の発生届出があった。
- 2 患者情報 小倉南区在住、10歳未満、男性
- 3 経過 5月29日(水) 頭痛、食欲不振あり。
5月31日(金) 発熱(37.5℃)あり。
6月2日(日) 腹痛あり。
6月5日(水) 嘔吐、頭痛、腹痛のため、A医療機関受診。
6月11日(火) A医療機関再受診し、血液検査実施。
黄疸、肝機能異常のため、B医療機関紹介。
6月12日(水) B医療機関受診し、血液検査を実施。
血液検査の結果、A型肝炎と診断。
- 4 現在の状況 症状なし
- 5 感染原因 不明
- 6 行政対応 患者、家族等に対する健康調査の実施。

7 A型肝炎の北九州市への届出状況(令和6年6月14日現在)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
発生届出数 (単位:人)	1	0	0	2	0	1 (本件含む)

- 8 その他
患者の個人情報については、プライバシー保護の観点から、提供資料の範囲内にさせていただきます。ご理解の上、特段のご配慮をお願いいたします。

- 9 A型肝炎について
別添参照

《A型肝炎について》

➤ 症状

A型肝炎は、A型肝炎ウイルスの感染によるもので、感染してから2～6週間の潜伏期間を経て、発熱、全身倦怠感、食欲不振、黄疸、肝腫大など、一過性の急性肝炎を引き起こします。

一般的に予後は良く、慢性化することはありません。

特異的な治療法はなく、対症療法が中心です。

➤ 感染経路

A型肝炎ウイルスは患者の便に排出され、ウイルスが人の手を介して、水や氷、野菜や果物、魚介類を経て口に入ることによって感染します。また、性的接触による感染もあります。

➤ 感染防止のポイント

- ・便を介して感染する可能性があるため、食事前、オムツ交換など便の処理後に手を洗うことが基本です。
- ・魚介類は生食用か加熱用かを確認し、加熱用の場合は、食品の中心温度85℃以上で1分間以上の加熱を行いましょう。
- ・生ものを調理した際は台所用塩素系漂白剤などで調理器具を消毒しましょう。
- ・渡航先では生水、氷入りの飲み物、加熱していない食物に注意が必要です。
- ・海外に渡航する際には、厚生労働省検疫所ホームページにて情報提供が行われておりますので、A型肝炎の予防接種についてご確認ください。